

2012年  
3月14日  
水曜日

# 日刊工業新聞

●購読のお申し込みは  
フリーダイヤル

東京 0120・412346  
大阪 0120・597117  
名古屋 0120・462346  
福岡 0120・817120

## プレスで絞り並み加工

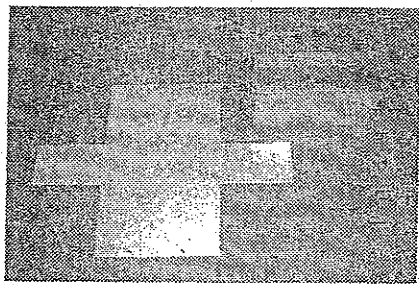
### アルミケース 造 日光金属が新技術

【姫路】日光金属工業（兵庫県姫路市、津田忠明社長、079・2266・2236）は、アルミケース製造技術「リークゼロコーキング」を開発した。アルミ板の特殊な金型とプレス加工で箱形の

アルミケース（写真）を成形するリークゼロ工法とカシメ加工を組み合わせた。箱の変形もカシメ加工で抑えられる。防水もできるため、電池や電子基板のケースとして家電、自動車の部品メーカ

ーなどに提案する。2012年度に売上高1200万円を見込む。

1回のプレスで深さ90ミリの絞り加工をする場合と同じ箱を形成で



き約0.5ミリ。厚さ0.1・0.5ミリのアルミ板を切断面がギザギザ状になる金型で打ち抜き、それを箱形にプレスする際にギザギザの切断線同士を接合させる。接合部がつぶれずき間を埋め、防水になる。防水用の樹脂の塗布

乾燥作業が不要で、抜きと曲げの2工程のため生産コストを低減できる。絞り加工に比べて傷がつかないため、表面処理も不要。今後、厚さ0.8ミリの薄いアルミ板の加工にも取り組む。